

2018年10月30日
株式会社ブレインテック
代表取締役 榎本 崇

(株)ブレインテック、(一財)機械振興協会 BIC ライブラリと Open Book Camera を使った灰色文献の一括遡及データ入力の実証実験を開始

(株)ブレインテックは、(一財)機械振興協会 BIC ライブラリとともに、BIC ライブラリの所蔵する未データ化灰色文献(非商業出版物等)について、(株)カーリルの提供する Open Book Camera で一括で遡及データ入力(図書館システム用の目録データ作成)を行う実証実験を開始した。

実験は、BIC ライブラリが所蔵する未データ化資料約 2000 冊を対象として、一般流通図書を主とし多様な形態、年代の資料を含む寄贈コレクション 1000 冊と、典型的な灰色文献である団体報告書 1000 冊を対象として実施。資料の形状や性質による一括遡及データ入力の効果の違いなどについて検証を進めている。

実施の経緯

(株)ブレインテック製の図書館システムを導入して蔵書データを公開(組織内公開を含む)している企業・専門図書館でも、寄贈等で受け入れた古い灰色文献がデータ化されないまま眠っている例が多くある。これらは、MARC と呼ばれる既成の書誌データを流用した安価なデータ化が困難なことや利用頻度の低さから、蔵書データ作成のコストをかけることが難しく、図書館システム導入後も蔵書データとして公開されることなく、来館者のみに閲覧させていることが多い。

実施の概要

実験は、対象資料 2000 冊について以下の一括処理を中心としたプロセスで行い、低予算での一括遡及データ入力の有効性について検証を行っている。

- 1.対象資料裏表紙へのバーコードラベル貼付
- 2.Open Book Camera で表紙等画像のスキャン(表紙、背表紙、裏表紙同時撮影)
- 3.OCR 処理
- 4.表紙画像データの加工
- 5.図書館システム(情報館)に取り込める書誌データ形式への加工と取込

検証結果について

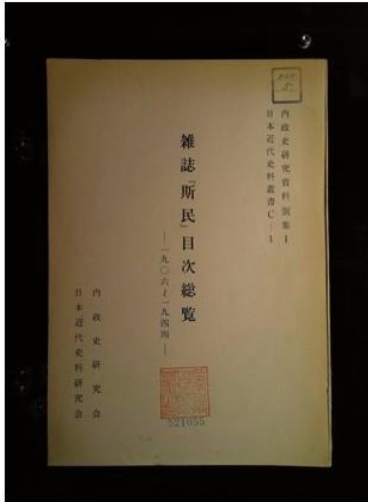
実験の結果は、今後（株）ブレインテックの Web サイトおよび BIC ライブラリの蔵書検索システム（OPAC）上で公開されていく予定である。また、本日 10 月 30 日よりパシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい）にて開催される第 20 回図書館総合展の（株）ブレインテックブースにてその概要を紹介する。

- Open Book Camera について
<https://openbookcamera.com/>
- 一般財団法人 機械振興協会 BIC ライブラリ
<http://www.jspmi.or.jp/biclibrary/>

BIC ライブラリ地下書庫での Open Book Camera を用いた撮影の様子



Open Book Camera で撮影した表紙、背表紙の写真と
OCR により抽出し書誌データ (イメージ)



内政史研究資料別集1
日本近代史料叢書CI.
5
雑誌『斯民』目次総覧
一九〇六～一九四四
内政史研究会
日本近代史料研究会



雑誌「斯民」目次総覧
内政史研究
日本近代史料研究会
13

図書館システムに取り込んだ加工済みデータと書影（例）

	推定書名	年代	ISBN1
1		宇佐美誠次郎 江口朴良13	
2		渋沢栄一事業別年譜	
3		中国産業技術調査報告書	
4		中目の輸出基地建設と日中貿易の所し: 仅-杉走5	
5		中国の財政、金融及び税制	

株式会社ブレインテックについて

- ・社名：株式会社ブレインテック (<https://braintech.co.jp/>)
- ・設立：1983年4月21日
- ・代表者：代表取締役 榎本崇
- ・資本金：1500万円
- ・従業員数：43名（2018年10月現在）
- ・所在地（本社）：東京都品川区東五反田 1-7-6 藤和東五反田ビル 3F
- ・事業内容：
 - 事業内容：図書館向け業務システムおよびクラウド型図書館 OPAC、OPAC 横断検索サービス等の開発、販売、サポート

本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社ブレインテック 広報グループ（担当：関）

TEL：03-3449-7261 FAX：03-3449-7381 ・ Email：publicity@braintech.co.jp